

【クライアントさん・ご家族の方へ】

—— 「事例報告」についてのご説明 ——

私たちは、クライアントさんとともに取り組んでいる現在のカウンセリングについて、よりよいものにしたいと常に考えています。たとえばその方法の一つに「事例報告」というものがあります。ここでは、対人関係カウンセリングでクライアントさんとカウンセラーが取り組んだことについて、専門家同士で検討します。そして、その内容に関して、他の専門家の意見も聞きながら、カウンセリングの方法を確認したり、カウンセリングの効果をさらに高められるような方法を一緒に考えてもらったりします。このような場で、対人関係カウンセリングや対人関係療法に取り組んでいるカウンセラーや治療者同士が検討することで、現在、クライアントさんが困っておられることに関して、解決の糸口を見つけやすくなるのではないかと考えています。

このような目的のために、面接の情報（検査データやその他の情報）を、本人が特定されない形にして（個人情報保護して）、「事例報告」に活用させていただきたいと考えています。

具体的には、限られた専門家のみが出席を許可される

- **事例検討会の場で、資料を用いた口頭による報告**（ 年 月 日予定）
といった方式をとります。

発表の際は、クライアントさん個人が特定されないように（個人情報保護するために）、次のような配慮・工夫をします。

- 氏名：イニシャルも含めて提示しません。任意のアルファベットを使用する場合があります。
- 生年月日および住所：提示しません。
- 年齢：「〇歳代」などのおおよその形で提示します。
- 日付：「X年2月」といった、具体的な年代はわからない書き方にします。
- 地名：カウンセリング機関名や地域名などについては、「A カウンセリングルーム」「B 県」などの記載を用います。
- 家族歴・職業歴など：事例報告に必要な不可欠な事項に限定します。
- 検査データ・その他の情報：必要な場合に最小限の部分だけ提示することがあります。IDや氏名といった個人を特定可能な情報は削除します。
- 事例検討会に参加する専門家は、資料や知り得た情報を外部に漏らさないことを誓約した上で参加を許可されています。事例検討会で共有した資料は、終了後、速やかに破棄をして個人情報を保護します。

事例報告へのご協力は自由です。お断りになってもカウンセリングを受ける上で不利益がないこととお約束いたします。また、一度同意した場合でも、後で取りやめることができます。同意の撤回を申し出があった時点で、事例報告を中止致します。その場合でも、もちろんカウンセリングを受ける上で不利益がないこととお約束いたします。

以 上

